

	2 部屋換気用		
ボディ	鋼板		ステンレス
形名	VD-13ZF12	VD-15ZF12	VD-15ZFT12

取扱説明書

お客様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
--	-----------	-----------------------------------	--	-----------	---------------------------------------

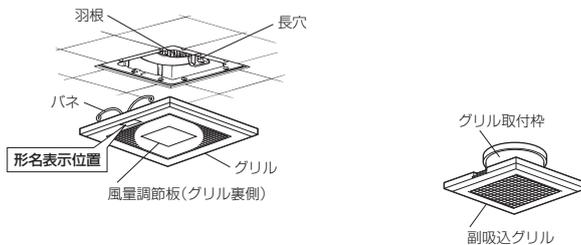
本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		接触禁止		指示に従う		アース確認
--	----	--	-------	--	------	--	------	--	-------	--	-------

警告	
	●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用した場合に感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	●湿気が多い場所で使用する場合は、アースが取付けられているか確認する 故障や漏電した場合に感電の原因。 アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください。

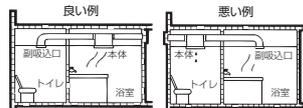
注意	
	●換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。 ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。 ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないときが原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。 ●長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. 各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください。(グリル・羽根の破損、変質の原因となります)
- 高温(40℃以上)になるところに据付けられていないか確認してください。(製品の変形や早期故障の原因となります)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装ががれや故障の原因)
- 浴室と他の部屋で使用する場合は本体が必ず浴室に据付けられているか確認してください。(本体から水滴が落ちることがあります)



3. 使用方法

注意

- 換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

- スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。

- お願い**
- 浴室使用においては、入浴時以外は浴槽に風呂フタをしてください。(浴室・換気扇のいたみを少なくします)
●給気口があるか確認してください。(効果的な換気を行うために必要です)

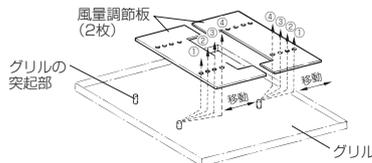
- お知らせ**
- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
●この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
●本体が運転していない状態では副吸込側から換気はしません。

上手な使いかた

- 浴室では入浴後、湯を抜くか、浴槽に風呂フタをして3時間以上換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。

本体側と副吸込側の風量調節のしかた

- 本体グリルの風量調節板を移動させることにより本体と副吸込側の風量割合を変更することができます。



穴位置	本体風量：副吸込風量
①	約 1.5 : 1 (工場出荷時)
②	約 2 : 1
③	約 2.5 : 1
④	約 3 : 1

- お願い**
- 風量調節板はテープで固定されています。風量調節板を移動した場合は、再び風量調節板をテープで固定してください。
●風量調節板を取りはずしたまま使用すると、副吸込側から吸い込まなくなりしますので風量調節板を取りはずしたまま使用しないでください。

4. お手入れのしかた

グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。
6か月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。
※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

注意

お手入れの際は手袋を着用する
着用しないといけない原因。

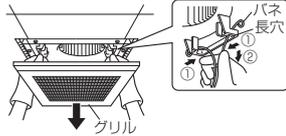
お願い

- 洗剤などをご使用の場合は、台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください。
- 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、薄めてご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。
- 2.各部のなまえの「ご使用にあたってのお願い」に記載の溶剤・洗剤を使用しないでください。

グリルをはずす

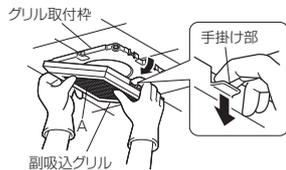
本体側の場合

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- パネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはずれます。
- 風量調節板の穴位置を確認してください。



副吸込側の場合

- 副吸込グリルの両側の手掛け部を持って片側の手掛け部を下へ引きグリル取付枠からはずします。



メモ

- 副吸込グリルがはずれない場合は、イラストの「A」の格子部を押し上げながら、手掛け部を下へ引くとはずしやすくなります。

汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買い上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。



グリルを据付ける

- グリルを据付ける前に、パネの固定部に割れ・ひびなどの破損がないか確認してください。

本体側の場合

- 風量調節板をはずした場合は元どおりに取付けてください。
- パネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。

副吸込側の場合

- 副吸込グリルをグリル取付枠に合わせて上に押し上げます。

5. 修理を依頼する前に

このような動作や事象は異常ではありません。

- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多い時はグリルから水滴が落ちる場合があります。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- この換気扇は風圧式シャッターを設けています。急激なドアの開閉や外風が強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- ダクト配管が長いまたは曲がりが多い場合は、羽根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こえる場合があります。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。
(<http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>)



このような症状があれば点検してください。

- コントロールスイッチを入れても換気扇が運転しない。
 - プレーカーが切れていたり、停電ではありませんか？
 - 羽根が回転しているか確認してください。運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。
- 換気されない、換気量が不足する。
 - 運転中に異音がある。
 - 羽根に異物が付着していませんか？
 - 給気不足ではありませんか？ (給気ガラリ、給気口は開いていますか？)
 - 風量調節板がはずれていませんか？
- グリルから室内に風が吹き返す。
 - 運転中に振動がある。
 - 屋外フードにほこりが堆積していませんか？
 - グリルや本体が確実に据付けられていますか？
- グリルがはずれかけている。または傾いている。
 - 本体に確実に据付けてください。

電源を切って必ず販売店に点検・修理を依頼してください。費用については販売店にご相談ください。

6. アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は 技術料+部品代 (+出張料) などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用 (出張料) や有料駐車場の費用 (駐車料) を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 ダクト用換気扇
2. 形名 VD-○○○
3. お買上げ日 年 ○月 ○日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合 (転居や贈答品など) は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報(以下「個人情報」といいます)を、あらかじめお客様にご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。②法令等の定めに基づき行う場合。③個人情報を開示する場合は、お問合せをいただいた窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)

携帯電話・PHS対応

三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)

〒508 3855 岐阜県中津川市御坊町1番3号

■ご相談対応 平日(土・日、祝及び弊社休日以外) 9:00~12:00 13:00~19:00

■上記時間帯以外のご相談 (受付のみ)

●三菱電機お客様さま相談センター

フリーダイヤル **0120-139-365** (無料)

〒108-8501 東京都港区三軒茶屋3-5-5

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

<http://www.melsc.co.jp>

空メールの送り先: fc8634@melsc.jp

または2次元コードからアクセス。URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合

TEL **0570-01-8634** (有料)

FAX **0570-03-8634** (有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

7. 仕様

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-13ZF12	13.5	15.5	175	170	29	28.5	4.2
VD-15ZF12	20	23	210	210	35	35	4.2
VD-15ZFT12	20	23	210	210	35	35	4.1

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。
※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造を開始時とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
【経年劣化】とは長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	標準 100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による	
温度	20℃		
湿度	65%	JIS C 9603から引用	
設置条件	標準設置	取付部面による	
負荷条件	定格負荷	【7.仕様】による	

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※注) 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がある。
- 回転が遅いまたは不規則。
- (モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがある。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。(材質名は主材料にISO規定の略号を使用。)

お客様メモ	形名	お買上げ年月日	年	月	日
サービスを依頼されるおき便利です。	(住所) (電話番号)				